

まちかど

アルバム



カレーを食べて華麗なプレーを！

福祉文化会館

1世帯当たりのカレー消費量が日本一の鳥取市。この日本一にあやかり、ガイナレ鳥取の選手にカレーを食べてもらって、JFL1位でJ2に昇格してもらおうと2月16日(月)、「カレーランチミーティング」が行われました。この日は、竹内市長をはじめとするサポーターや選手、鳥取カレー倶楽部(池本百代会長)のメンバーら22人が参加。特性の「鳥取牛みそ煮込みカレー」を食べた選手の目は、優勝めざし燃えていました。

勝負のカギは作戦と団結力

気高町勤労者体育センター

3月1日(日)、気高町内の小学生やその保護者らが集まり、カローリング大会が開催されました。カローリングは、氷上で行われるカローリングをもとに発案された、幅広い年代で楽しめるスポーツです。ローラーと呼ばれる円盤を、2チームが交互に投球。的の中心に近いほど高得点となります。ときには相手チームのローラーにぶつけてはじき出したり、自分のチームのローラーを守る位置に投球したり…。"チーム気高"は、ローラーの行方に一喜一憂です。



鳥取を世界のIT拠点に！

鳥取市学習・交流センター

世界に通用するIT技術者を鳥取から輩出しようと、インド人企業家のサチン・チョードリーさんが立ち上げた「ITTR(インド鳥取トップランナー)」の設立協定調印式が2月28日(土)、湖山町西1丁目の鳥取市学習・交流センターで行われました。式典には、支援を約束している竹内市長や平井鳥取県知事、小林若桜町長らが出席。チョードリーさんは「鳥取を世界のIT拠点にしたい」とあいさつしました。

手と手を合わせて一緒に歌おうよ！

流しびなの館

3月3日(火)、「流しびなの館で童謡をうたう会」が開催されました。21回目となる今回は、用瀬町内の保育園児や小学生、コーラスグループなど7団体、約200人が出演。紙風船や着物の帯がつり下げられ、レトロな雰囲気演出されたステージで、わらべ歌やあそび歌などが次々と披露されました。観客も一緒になって歌ったり、手あそびしたりして大満足。みんなで楽しい一日を過ごしました。





元気なお兄さん・お姉さん登場

福部保育園

2月17日(火)、京都市の佛教大学児童文化活動サークル「どんぐり」が福部保育園を訪れ、人形劇や歌あそびの上演会を行いました。元気なお兄さん、お姉さんたちの登場に、園児たちは大喜び。ペープサート(紙人形劇)や指人形劇を真剣なまなざしで見つめ、歌あそびでは元気いっぱいに歌いました。どんぐりのメンバーも「子どもたちの笑顔が今後の活動の励みになる」とうれしそうでした。

「桃の節句」を楽しみました

佐治歴史民俗資料館

佐治小学校の1・2年生が3月3日(火)、地域に伝わる民俗行事「桃の節句」を体験しました。おひな様と桃の花が飾られた部屋でいろりを囲み、地元に住む谷上一行さんたにがみかずゆきから「健康と厄よけをお願いする昔からの風習が、ひな祭りとなって今に伝えられています」と教わりました。その後、みんなで甘酒をいただき、絵馬に願い事を書いて一年の無事を祈りました。



朝ごはんをしっかりと食べよう!

河原町中央公民館

3月6日(金)、子育て支援センター「ほのぼのの広場」が、食育講座を開催しました。今回のテーマは、乳幼児期に大切な栄養素を取るための料理。育児中の母親ら12人が参加し、子どもが食べやすく、時間のない朝でも簡単に調理できて栄養価の高い「ピザ風ごはんのおやき」など4品を作りました。料理が出来上がると、早速試食。子育て話に花が咲きました。

にこ二胡の調べで優雅なひととき

青谷町総合支所

2月25日(水)、鳥取市青谷国際交流協会の国際理解講座の一環として、弦楽器「二胡」のコンサートが開催されました。演奏者は、本場中国で二胡を1年間学んだ倉吉市在住の福井紀臣さんふくいとしか。観客はその美しい音色にうっとりとした表情を浮かべ、多目的ホールはしばし悠々の時が流れました。中国を身近に感じるいい一時になったようです。



鳥取観光はガイドハイヤーにお任せ

仁風閣

3月4日(水)、タクシーの運転手が観光案内の達人として、市内の名勝や史跡を紹介する「ガイドハイヤー」の認定試験が行われました。これは、まち全体で観光客をもてなそうと設立された鳥取市観光大学のカリキュラムの一つ。鳥取市観光協会職員らが審査員となり、身だしなみや言葉使い、説明内容などをチェックしました。もうすぐ開幕する「2009鳥取・因幡の祭典」で活躍が期待されます。